

ポーランド・南ドイツ

旅行代金 2018年6月19日 発 339,000 円

2018年9月4日 発 339,000 円

一人部屋追加料金 49,000 円

定員 20名(最低実施人員 15名) 添乗員同行 申込み締切:各出発日の1ヶ月前

日次	月日	曜	都 市	現 地 時刻	交通機関	摘 要	〈宿泊地〉	食事
①	6月19日 9月4日	火 火	成田・羽田空港発 ヨーロッパ内都市経由 クラクフ着	午前 午後	航 空 便	集合:午前7時半~12時半頃 空路、經由便にて、古都クラクフへ 着後、ホテルへ	〈クラクフ泊〉	B-X L-機 D-X
②	6月20日 9月5日	水 水	クラクフ発 オシフィエンチム着 クラクフ		専 用 車 徒 歩	専用車でオシフィエンチムへ アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所見学 夕食はユダヤ料理とユダヤ音楽を楽しめるレストランにご案内	〈クラクフ泊〉	B-H L-R D-R
③	6月21日 9月6日	木 木	クラクフ	午前 午後	徒 歩	中世そのままの趣を残すクラクフ旧市街(世界遺産)見学 午後:自由行動 OP:ショパンピアノコンサート♪	〈クラクフ泊〉	B-H L-R D-X
④	6月22日 9月7日	金 金	クラクフ発 ミュンヘン着	午前 午後	航 空 便 公 共 交 通	空路、ドイツ南部の都市ミュンヘンへ 着後、ミュンヘン市内見学 ●フラウエン教会 ◎マリエン広場と新市庁舎 ●NSドキュメントセンター 世界最大級のビアホールでお食事	〈ミュンヘン泊〉	B-H L-X D-R
⑤	6月23日 9月8日	土 土	ミュンヘン発 ニュルンベルク着 ニュルンベルク発 ミュンヘン着	午前 午後	公 共 交 通 徒 歩 公 共 交 通 徒 歩 公 共 交 通	列車でニュルンベルク中央駅へ向かい、Sバーンに乗り換え ドク・ツェントルム見学(ナチス党大会会場跡) >ニュルンベルク法が制定された場所が現在ドキュメントセンターに。再び、Sバーンでニュルンベルクへ ニュルンベルク見学 ◎職人広場 ●聖ローレンツ教会 ◎中央広場 ◎カイザーブルク(テラスまで) ◎デューラーの家 再び、列車にてミュンヘンへ(約1時間半)	〈ミュンヘン泊〉	B-H L-R D-X
⑥	6月24日 9月9日	日 日	ミュンヘン	午前 午後	公 共 交 通	ミュンヘン市内見学 ●ミュンヘン大学(白バラ関連のモニュメント見学) 白バラ財団の方のお話(予定) 自由行動 旧市街散策や、美術館見学などをお楽しみください。	〈ミュンヘン泊〉	B-H L-R D-X
⑦	6月25日 9月10日	月 月	ミュンヘン発 ヨーロッパ内都市経由	午前	航 空 便	空路、ヨーロッパ内都市経由で帰国の途へ	〈機中泊〉	B-H L-X D-機
⑧	6月26日 9月11日	火 火	東京・成田空港着	午前		到着後、解散(9~16時頃)		B-機

H=ホテルで、R=レストランで、X=食事なし、機=機内食、軽=軽機内食(スナックなど)

OP=オプション・ツアー(希望者参加の小旅行、別途料金) サ=サンドイッチ 弁=弁当

ツアーの特色

- ◇ナチスが結党したミュンヘンで、ナチズムの歴史を学び記憶する記念館を訪問。
- ◇かつてニュルンベルク法が制定された古城の街・ニュルンベルクへ。
- ◇芸術の都として栄えたミュンヘンに3連泊。散策やビアホールでのお食事もお楽しみに。

利用航空会社

ポーランド航空、フィンランド航空、スカンジナビア航空、ルフトハンザドイツ航空、エールフランス など

利用ホテル

都市名	ホテル名
クラクフ	ポロニア、マティコ、アンテルス、ホリテイイン
ミュンヘン	マイアー、オイロベイ、マリタイム、メリティアン、エーダー または同等クラスのホテル

旅行代金に含まれるもの

- 国際航空料金 (エコノミークラス)
- 旅程表に明示したバス・列車・船等の料金・宿泊料金・食事料金
- 航空機による手荷物運搬料金
- 旅程表に明示した見学地のガイド料、入場料、チップ

旅行代金に含まれないもの

- 超過手荷物料金
- クリーニング代、電報・電話代、心づけ、追加飲食等の個人的性質の諸費用
- 成田空港施設使用料、保安料 2,610 円
- お一人部屋追加料金 49,000 円
- 国内における集合・解散地までの交通費・宿泊費
- 燃油付加運賃・航空保険料 30,650 円 (2018年3月現在)
- 空港税 12,810 円
- 渡航手続費用: 旅券印紙代
- 傷害、疾病等に関する医療費、任意の旅行傷害保険料



ビルケナウ強制収容所跡



クラクフ旧市街



マリエン広場とミュンヘン新市庁舎



白ばら団のモニュメント